

おいしいお水をいつもありがとうございます

小坂井東小・4年 高柳 美那星

「今度の日曜日、いっしょにお水くみに行かないかなって、おばあちゃんからラインとどいたよ。」

とお母さんがスマホを見せてくれました。

「みーちゃんが来てくれると、おじいちゃんとおばあちゃんが助かるから、お母さんといっしょに行こうよ。」

とお母さんに言われたけど、わたしは家でゆっくりすごすのが大好きなので、行きたくないという気持ちでした。ちよつとなやんだけれど、おじいちゃんとおばあちゃんに会いたかったし、助けてあげたいなという気持ちもあったので、やっぱりお母さんといっしょに行くことにしました。

まずは、カレントに行つて、モーニングを食べました。はちみついっぱいのおトーストがすごくおいしかったです。おなかいっぱいになって、元気もいっぱいになりました。

車の中では、DVDを見たり、おやつを食べたり、お母さんとしりとりをしたり、車の色を決めて見つけるゲームをしたりして、楽しくすごしました。でも、お水くみの場所は遠くて、なかなか着かないから、やっぱり帰りたいなという気持ちになってきました。

したらの道の駅でトイレ休けいをして、おばあちゃんがおかしを買ってくれて、ちよつとうれしい気持ちになりました。車で走っていったら、きららの里のかんばんが見えてきました。(やったあ、も

うすぐお水くみの場所に着くな。)と思いました。

やつとお水くみの場所に着いて、まずはおさいせんを入れて、水の神様に

「いつもおいしいお水をありがとうございます。」

とお礼を言いました。車から水を入れる入れ物を出して、その入れ物をきれいにあらつてから、水をくんでいきます。水は、すごく冷たいので、最初は気持ちいいけれど、だんだん手がいたくなります。

くみ終わったら、おじいちゃんとおばあちゃんから

「みーちゃんが来てくれたから早く終わって助かったよ。ありがとう。」

と言ってもらえたから、手伝いができてよかったし、来てよかったなと思いました。最後に、水を飲んだら、冷たくて、あまくておいしかったです。

帰るときにもう一回、水の神様に

「これからもおいしいお水をお願いします。いつもありがとうございます。」

とお礼を伝えて車に乗りました。

帰り道には、おじいちゃんが五平もちとフランクフルトを買ってくれて、みんなで川を見ながら食べました。風が気持ちよくて、お水くみをがんばったから、とてもおいしく感じました。

いつもお水くみのあとには、グリーンセンターで花を買って、ひいおじいちゃんとひいおばあちゃんのおはか参りを必ずしてから家に帰ります。おはかに着いて、まずは、花が入っている入れ物をきれいにします。それから、くんできたとても冷たい水をひいおじいちゃんといひいおばあちゃんのおはかにかけます。おはかとても

熱くなっていたので、ひいおじいちゃんとひいおばあちゃんが気持ちがいいなって言っている声が聞こえてくる感じがしました。おはか参りをしたら、みんなからありがとうって言ってもらえたし、ひいおじいちゃんとひいおばあちゃんによるこんでもらえた感じがしたので、来てよかったなって思いました。

家についてから、くんできた水を運ぶ手伝いもします。家族みんなががんばります。重たかったけど、みんなと同じように二つ持ちました。始めは家で待っていたいなと思っていたけれど、いっしょにお出かけしたら楽しかったし、みんなからありがとうって言ってもらえてうれしかったから、行ってよかったと思いました。だから、これからもがんばろうと思いました。

この前テレビで、小学生が水を飲むのが苦手というニュースを見ました。でも、わたしは、自分がくんできた水はあまくておいしいから大好きです。たくさんくんできたから、もし地しんがきてもだいじょうぶと思つてじゅんぴできました。

一学期に、水の勉強をして、とても大事だとわかりました。理科のじゅ業では、雨が全然ふっていないくて、おたまじゃくしがかわいて死んでしまうというテレビを見て、水を大事にしているのは、人だけじゃなくて、生き物や植物もだとわかりました。わたしは、おいしい水を飲むことができて、自然がいっぱいの山に感じやしています。これからもうありがとうという気持ちをわすれないで、水を大切に使ったり、水を飲んだりしたいなと思いました。